

めにも、まずは相互理解が重要です。ぜひ、オヨナ市についてお聞かせください。

ビリオン オヨナ市は美しい自然に囲まれ、湖が豊富な人口5万人の小さな市です。一方で、1,000以上もの企業がある非常に活力のある市でもあります。特にプラスチック産業が盛んで、日用品から特殊加工品までを出荷しています。

市長 重要な産業をお持ちなのですね。さて、ビリオン氏は今回の経済ミッション団の団長であるとともに、トゥルニエビリオン社の最高経営責任者ですが、同社はどのような製品を作られているのですか。

ビリオン トゥルニエビリオン社は長い伝統を代々受け継ぐ家族経営の会社で、1892年から櫛などのヘアアクセサリを製造しています。

市長 120年以上も続く老舗企業なのですね。なぜ、オヨナ市ではプラスチック産業が盛んになったのでしょうか。

ビリオン 西暦600年頃、スイス・ジュネーブに美しい王女がいました。フランス国王はその王女を息子の后として迎える交渉をするため、使節団を送りました。しかし、その途中で馬車のかごが壊れ、使節団長が怪我を負ってしまうのですが、オヨナの住民が手当てして乗り物を修理しました。オヨナの冬は長く厳しく、当時の人々は地元の木材から櫛を作り生計を立てていました。フランス国王は使節団を助けてくれたことに感謝の意を表して、オヨナの村で作られた櫛をフランス国御用達の品として納める特権を



与えたのです。

市長 とても興味深いお話で感銘を受けました。なぜ、ビリオン氏が御社の長い歴史をたたえられているのかが分かりました。先祖代々で築き上げられてきたものなのですね。

ビリオン その後、私たちの挑戦は櫛を作ることだけにとどまらず、現在は飛行機の部品や家屋の材料、日用品なども作っています。プラスチック産業は人々の生活にとって、欠かせないものへと成長しました。今日は実際にオヨナで作られたプラスチック製品を持ってきましたので、ぜひ手にとってご覧ください。

市長 髪飾りですね。手作りに思えないほど精密で美しいですね。

ビリオン 手作業によって500個以上のストーンが埋め込まれています。この作業には、高い技術が必要なのです。



Mr. Philippe TOURNIER BILLON

オヨナ地域経済ミッション団団長 フィリップ・トゥルニエ ビリオン

TOURNIER BILLON (櫛製造会社) 代表取締役。現在、オヨナ市産業振興顧問、オヨナ地域経済委員会委員長、アン県商工会議所委員 (国際ビジネス担当) を務める。